

職員募集案内



人・水・未来をつなぐ下水道



公益財団法人埼玉県下水道公社
Saitama Sewage Systems Agency

■ 埼玉県の流域下水道と水循環センター

流域下水道とは、複数の市町村の公共下水道をつないで下水を集め、水循環センター（終末処理場）でまとめて処理する下水道で、都道府県が設置し管理しているものです。埼玉県には、8つの流域下水道がありますが、5つの流域下水道（下図の①～⑤）の維持管理と3つの流域下水道（下図の⑥～⑧）の履行監視を下水道公社が行っています。維持管理を行っている5つの流域は、38市町からなり、処理水量約7億m³/年、処理人口約547万人で、流域下水道では全国一の規模を誇ります。

- ①荒川水循環センター
（荒川左岸南部流域下水道）
- ②元荒川水循環センター
（荒川左岸北部流域下水道）
- ③新河岸川水循環センター
新河岸川上流水循環センター
（荒川右岸流域下水道）
- ④中川水循環センター
（中川流域下水道）
- ⑤古利根川水循環センター
（古利根川流域下水道）
- ⑥市野川水循環センター
（市野川流域下水道）
- ⑦荒川上流水循環センター
（荒川上流流域下水道）
- ⑧小山川水循環センター
（利根川右岸流域下水道）

※①～⑤が公社管理



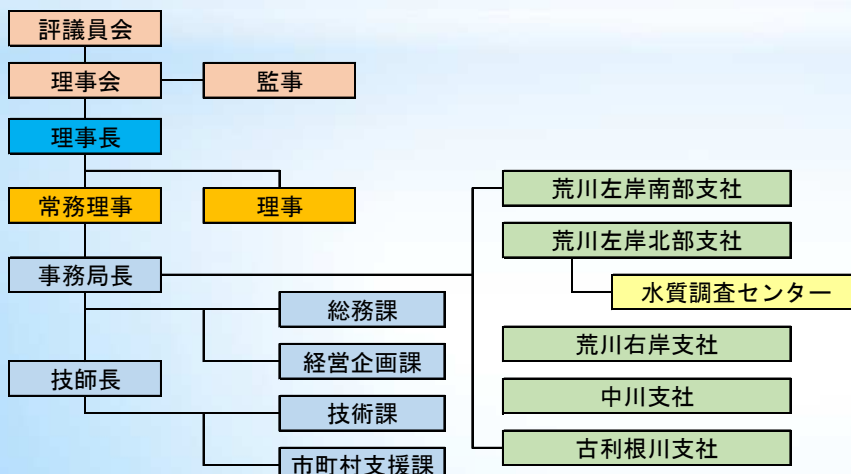
■ 埼玉県下水道公社の概要

■ 設立年月日 昭和54年2月1日

■ 基本財産 1億1,006万円(県5,503万円 流域関連47市町5,503万円)

■ 役職員数 118名（令和7年4月1日時点）
（常勤役員3名 プロパー職員97名 県派遣職員13名 非常勤職員5名）

■ 組織図



本社（さいたま市桜区）

■埼玉県下水道公社の主な事業

■流域下水道の維持管理運営事業

流域下水道の維持管理業務を埼玉県から受託し、24時間365日適正な維持管理を行っています。

また、放流水質の向上に努め、維持管理コストや温室効果ガスの削減に努めるとともに、災害発生時に迅速に対応できるよう危機管理意識をもって業務に当たっています。

■流域下水道施設の改築事業

流域下水道の老朽化施設の改築業務を埼玉県から受託しています。

■再生水事業

さいたま市下水処理センターの下水処理水をさらに高度処理し、さいたま新都心地区へトイレ洗浄水として供給する業務を埼玉県から受託しています。

■市町等への技術的支援事業

下水道事業を行っている市町や組合に対して、維持管理に関するアドバイスや水質検査、災害訓練のサポートなどの技術的支援を行っています。



■普及啓発事業

子供から大人まで幅広い世代を対象に、下水道の役割や重要性、下水道の適正な利用についての理解と協力を得るため、施設見学会などの普及啓発事業を行っています。

また、荒川・下水道フェスタや下水道の日作品コンクールなども実施しています。

施設見学会



各水循環センターの施設を下水道公社職員が案内。随時受付。

荒川・下水道フェスタ



荒川水循環センター（戸田市）で下水道クイズや各種イベントを実施。

下水道の日作品コンクール表彰式



下水道の日作品コンクール入賞者の表彰式を開催。

■ 仕事内容

● 設備職（電気） ●

- ・ 電気設備の運転管理・監督業務
- ・ 電気設備の修繕・工事の設計・積算・監督業務
- ・ 自家用電気工作物の保安業務
- ・ 下水道管路施設の点検業務
- ・ 薬品及び燃料等の発注・在庫管理業務等
- ・ 普及啓発業務（施設見学や各種イベント等）

<主な勤務先>

- ・ 本 社 技術課、市町村支援課
- ・ 各支社 運転管理担当、電気保安担当



◆ 自家用電気工作物の保安業務

特別高圧受電設備をはじめとする多くの自家用電気工作物について、計画的に修繕や点検を実施して、電気設備の安全性と健全性を確保します。

高度な電気主任技術者の資格を取得して、保安監督者になることも可能です。資格の取得も奨励しています。

◆ 電気設備の運転管理・監督業務

下水処理施設を毎日動かすためには、膨大な電力を必要とするため、省エネを目指した運転計画を作成します。

日々の運転操作や点検は業者に委託し、公社職員が策定する運転計画に基づき、業者に必要な指示をします。

◆ 停電時の対応

落雷などで停電することがありますが、停電が長引くと施設の機能が停止し、汚水が溢れてしまいます。機能停止に陥らないように、停電の原因を突き止め、速やかに復旧させます。



◆ 電気設備の修繕・工事の設計・監督業務

長期間稼働している電気設備は、故障を起こす確率が高くなります。故障箇所によっては、施設の稼働に重大なダメージを与えます。

そのため、日ごろから電気設備の状態を確認するほか、修繕の年次計画を策定して、故障を未然に防ぎます。

修繕・工事を行うに当たっては、設計書を作成し、発注から監督まで一連の業務に携わります。

● 設備職（機械） ●

- ・ 機械設備の運転管理・監督業務
- ・ 機械設備の修繕・工事の設計・積算・監督業務
- ・ 下水道管路施設の点検業務
- ・ 薬品及び燃料等の発注・在庫管理業務等
- ・ 普及啓発業務（施設見学や各種イベント等）

<主な勤務先>

- ・ 本 社 技術課、市町村支援課
- ・ 各支社 運転管理担当



◆機械設備の運転管理・監督業務

下水処理施設では、汚水を処理するために多くの機械設備が稼働しています。

巨大で複雑な機械設備を適切かつ効率的に動かすために運転計画を作成します。

日々の運転操作は業者に委託し、公社職員が策定した運転計画に基づき、業者に必要な指示をします。

汚泥を焼却する際に発生する温室効果ガスを削減するのも大きな仕事です。

◆機械設備の修繕・工事の設計・監督業務

長期間稼働している機械設備は、故障を起こす確率が高くなります。故障箇所によっては、施設の稼働に重大なダメージを与えます。

そのため、日ごろから機械設備の状態を確認するほか、修繕の年次計画を策定して、故障を未然に防ぎます。

修繕・工事を行うに当たっては、設計書を作成し、発注から監督まで一連の業務に携わります。



◆大雨・洪水時の対応

台風などの大雨時には下水道管が満杯になり、汚水が溢れ出したり、マンホールや道路が壊れてしまうことがあります。

そのため、特に台風の前には下水道管やマンホールの状態を確認します。

汚水が溢れないように下水道管の余裕量を把握して、水循環センターや中継ポンプ場の運転を行うことも機械職の仕事です。

■ 化学職 ■

- ・ 流入下水、放流水の水質試験業務
- ・ 水質試験のデータ集計・分析業務
- ・ 業務委託の設計・積算・監督業務
- ・ 下水処理施設の運転管理・監督業務
- ・ 調査研究業務等
- ・ 普及啓発業務（施設見学や各種イベント等）

＜主な勤務先＞

- ・ 本 社 技術課、市町村支援課
- ・ 各支社 水質管理担当
- ・ 水質調査センター



◆流入下水・放流水の水質試験業務

下水道に有害物質が流入すると、水をきれいにする微生物にダメージを与えてしまい、良好な放流水質を維持することができません。

そのため、水質調査センターにおいて、全流域下水道の流入下水と放流水を検査して、有害物質等の監視を行っています。

下水中に有害物質が検出されると、下水道管をさかのぼり、その原因を特定します。



◆水質試験のデータ集計・解析業務

水循環センターに流入する汚水の量や水質は日々変化しますので、下水の水質を分析し、微生物が汚れを分解するのに最適な運転条件を設定します。

放流水のBOD値は、平均BOD値5mg/L以下を目標にしており、令和5年度のBOD値は2.5mg/Lを達成しました。

化学職の持つ水処理ノウハウが水をきれいにします。



◆調査研究業務

下水道公社では、下水道に関する調査研究業務を積極的に行っています。

特に化学職はバラエティに富んだ調査研究を行っており、研究発表の機会も多く用意されています。

令和4年度は「活性炭と脱硫剤を併用した重力濃縮槽脱臭装置の脱臭効果の検討に関する調査」などの調査研究を実施しました。



▼ 事務職 ▼

- ・ 経営計画の策定・進捗管理業務
- ・ 予算・決算、契約・経理業務
- ・ 人事、服務、給与、旅費、福利厚生業務
- ・ 普及啓発業務等

＜主な勤務先＞

- ・ 本 社 総務課、経営企画課
- ・ 各支社 庶務担当



◆経営計画の策定及び進捗管理業務

下水道公社が安定した経営を行うため、経営計画を策定し、評議員会や理事会に諮ります。

また、計画の進捗管理を行い、その結果を検証し、今後の業務運営に生かしていきます。

◆予算・決算業務

水循環センターを24時間365日稼働させるためには年間200億円を超える経費を必要とします。

毎年度の予算編成作業の中で必要な予算を精査するとともに、予算を1年間執行した結果である決算書を作成し、その結果を今後の事業に反映させます。



◆契約・経理業務

下水道公社では、設備の運転操作・修繕・工事、電気・薬品の調達など様々な業務がありますが、業務を執行す際に必要となる契約の締結事務を行っています。

契約が実行された後には支払いなどの経理事務を行います。

◆普及啓発業務

水循環センター施設見学会や、学校等に公社職員が出向く「移動下水道教室」を開催します。

また、「荒川・下水道フェスタ」や「下水道の日作品コンクール」などのイベントに携わります。

そのほか、ミス日本「水の天使」による“水循環センターPR動画”や「バーチャル下水道施設見学」など、ホームページやSNSを活用した事業を実施しています。



■先輩職員のメッセージ

● 電気職 ●

◆プロフィール◆

勤務：荒川左岸南部支社
 運転管理担当 技師
 入社：平成29年

◆主な仕事◆

- ・ 水処理電気設備の運転、保守管理
- ・ 委託、修繕の設計、保守管理
- ・ 電力の使用状況及び電気料の管理
- ・ 日報、月報、年報等の作成
- ・ 燃料、薬品、処理用消耗品の購入



◆いまの仕事◆

下水処理場の水処理電気設備の運転、保守管理を担当しています。具体的には、水処理電気設備の停電作業監督と下水処理場の電気設備等の修繕・委託の設計書作成です。契約後は、担当している修繕・委託の監督員を行っています。他にも処理場運営に必要な消耗品や、自家発電機用の燃料、滅菌用の薬品の購入を行っています。どの業務も重要なため、ミスのないように注意して仕事をしています。



◆一日の仕事◆ 安藤さんのある一日

8:30 出勤

その日の業務予定と
メールのチェック

8:45 停電作業

停電作業に伴う設備
停止養生の監督

12:00 昼食

13:00 打合せ

停電作業の事前打合せ

15:00 現場監督

修繕・委託の現場立会
や調査

17:15 退社

書類の整理や翌日の
予定をチェック



10:30 停電作業

停電箇所の試験及び
復電操作



16:00 書類作成

薬品や消耗品の購入
伺いの作成等

● 機械職 ●

◆プロフィール◆

勤務：南部支社（令和6年度）
 運転管理担当 技師
 現在 中川下水道事務所
 入社：令和4年

◆主な仕事◆

- ・ 下水処理場の予算執行及び年次計画の作成
- ・ 下水処理場機械設備の運転、保守管理
- ・ 委託・修繕の設計・監督
- ・ 処理用消耗品の購入
- ・ 下水道の普及啓発



◆いまの仕事◆

主な仕事として、荒川水循環センター内における維持管理データの取り纏めや下水処理施設の保守管理、委託・修繕の設計及び監督業務、処理場内で使用される各種消耗部品の購入を担当しています。

円滑な下水処理の維持が必要なため、仕事には相応のプレッシャーも感じますが、計画的な休暇取得により趣味と仕事の両立を図るため、充実した毎日を送っています



◆一日の仕事◆ 原さんのある一日

8:30 出勤

その日の予定の
チェック

8:35 支社内打合せ

打合せ後、維持操作
委託業者と打合せ

10:30 業者との打合せ

修繕業者との打合せ・
作業工程の調整

12:00 昼食

13:00 現場監督

修繕現場の確認・指示

17:15 退社



9:30 資料作成

維持管理データ入力等・
薬品や物品の発注業務



15:00 修繕等の設計

発注予定案件の設計積算

埼玉県庁に派遣

● 化学職 ●

◆プロフィール◆

勤務：埼玉県下水道局
下水道事業課
管理運営担当 技師
入社：令和3年

◆主な仕事◆

- ・国際協力関連業務
- ・固形燃料化施設関連業務
- ・公社委託関連業務
- ・下水管路の維持管理

◆一日の仕事◆ 松岡さんのある一日

8:30 出勤
ミーティングと
メールのチェック

9:00 会議資料作成
午後の会議資料の作成

12:00 昼食

13:30 Web会議
Webによる会議の開催

17:15 退社
書類整理、翌日の
予定チェック



15:30 会議報告書作成
会議の開催報告書の作成



◆いまの仕事◆

県庁の埼玉県下水道局下水道事業課で流域下水道の維持管理の担当として、主に固形燃料化施設関連業務、公社委託関連業務、下水管路の維持管理に携わっています。

また、国際協力関連業務として、国内自治体との会議対応やタイ王国への技術支援関連の業務も担当しています。

◆県の仕事について◆

公社の仕事は個別の処理場の維持管理であるのに対し、県の仕事は現場の意見を伺いながら、埼玉県下水道事業全体が円滑に機能するように方針を検討することだと感じています。

■ 化学職 ■

◆プロフィール◆

勤務：荒川左岸北部支社
水質調査センター
担当課長
入社：平成31年

◆主な仕事◆

- ・水質管理（流入水、放流水や汚泥の分析調査）
- ・集中分析に係る調整及び分析データの集積
- ・計量証明及び精度管理に係る分析
- ・材料品の購入及び執行管理

◆一日の仕事◆ 澤井さんのある一日

8:30 出勤
一日の仕事
内容の確認

9:00 採水
処理場内で流入下水や
河川放流水を採水

12:00 昼食

16:00 データ分析
分析結果の解析を行い
処理状況を把握

17:15 退社
後かたづけ



10:00 水質分析
関連法令に基づく水質
の分析【前処理】

13:00 水質分析
関連法令に基づく水質
の分析【測定】



16:45 報告書作成
各分析データを報告
書としてまとめる



◆いまの仕事◆

私が所属する水質調査センターは多くの分析機器を有しており、埼玉県流域下水処理場9か所の流入下水、河川放流水の集中分析及び市町村からの依頼分析などを行っています。集中分析とはカドミウム、ヒ素、水銀など生物に対し有害な物質の分析のことであり、流入下水、河川放流水が環境基準を満たしているかを監視しています。適正かつ良好な水質の水を自然に還すことは有意義であり、とてもやりがいのある仕事です。



女性職員活躍中！

▼ 事務職 ▼

◆プロフィール◆

勤務：荒川右岸支社
庶務担当 担当部長
入社：平成4年

◆主な仕事◆

- ・パソコンでの書類作成
- ・他の担当との連絡調整
(重要です！)
- ・職員の服務管理
- ・予算管理



◆いまの仕事◆

- ・予算、決算、会計（支出、契約）
- ・財産管理、情報公開
- ・下水道知識の普及啓発
- ・サービス
- ・会議、委員会に関すること

◆女性の活躍について◆

現在、男性が多い職場ですが、少しずつ女性職員が増えてきています。「入社5年で一人前に！」と、人材を育てるため、段階的に研修を実施しており、安心して就業できます。

多様な働き方実践企業の「ゴールド」に認定され、性別に拘わらず、仕事と家庭（もちろん趣味も）が両立できる職場です。

女性管理職を目指してみませんか？
ホームページも見てくださいね。

◆一日の仕事◆ 中澤さんのある一日

8:30 出勤
その日の予定の
メールチェック

10:00 役付き会議

12:00 昼食

13:00 支払事務
支出伝票の作成

14:30 入札事務
修繕・委託契約等の
入札執行

17:15 退社
書類の整理や翌日の
予定をチェック

8:35 研修資料の作成
職員研修の資料作成



16:00 検討委員会
普及啓発委員会の開催



▼ 事務職 ▼

◆プロフィール◆

勤務：本社
総務課 主査
入社：平成28年

◆主な仕事◆

- ・予算の執行管理
- ・決算の調製
- ・収入の調定
- ・固定資産の管理
- ・会計システムの管理
及び支出処理
- ・文書の保管・管理
- ・OA機器の管理



◆いまの仕事◆

私は、本社の総務課で業務を行っています。私の主な業務は、公社全体の予算の編成や決算の調製、契約や支払事務です。

年間約200億円にもものぼる予算を適切に執行するため、日々契約や支払の状況を確認するほか、本社の支払業務にも携わっています。

公社の要となる事務のため、ミスは許されません。常に緊張感をもって仕事に取り組んでおりますが、やりがいのある仕事です。



◆一日の仕事◆ 柳谷さんのある一日

8:30 出勤
メールチェック、
朝の打合せ等

9:00 契約事務の審査
各支社から提出される
執行何や契約書の審査

12:00 昼食

15:00 連絡調整
県や支社との協議

17:15 退社
翌日の予定の確認
や机の整理



10:00 決算書の調製
各支社から提出される
決算データの処理

13:00 金融機関出張
金融機関での支払処理



16:00 書類整理
処理済みの書類等を分類
ごとにキャビネットに整理

■給与・勤務条件等（令和6年4月1日現在）

■給 与

【給与】

採用区分	地域手当を含む初任給
高校新卒者	約213,400円
高専・短大新卒者	約230,900円
大学新卒者	約247,200円
大学院新卒者	約252,900円

（一定の経歴がある場合は、経歴に応じた額が加算されることがあります。）

【諸手当】

手当名称	内 容
扶養手当	配偶者3,000円、子11,500円/人 （特定年齢の子は5,000円/人を加算）
住居手当	28,000円上限
通勤手当	150,000円上限
期末・勤勉手当	年2回（6月、12月） 年間4.6月分
休日・時間外手当	勤務実績により完全支給



元荒川水循環センター管廊内に県内高校生が制作した壁画

■勤務条件

項 目	内 容
勤 務 日	月曜日から金曜日まで（土曜・日曜・祝日休みの完全週休2日制） ＊大雨注意報、警報発表等により、休日・夜間に勤務する場合があります。
勤務時間	午前8時30分～午後5時15分（休憩は、午後0時から1時間） ＊「時差出勤制度」有 ＊時間外勤務の令和6年度実績 月平均9時間程度
有給休暇	年20日（4月1日採用は当該年15日）、半日又は1時間単位での取得可、 連続5日以上の上乗せ取得も奨励 ＊令和6年取得実績 年平均16日
その他休暇	①特別休暇（夏季休暇5日、結婚、出産、子育て、家族看護、短期介護など） ②病欠休暇、③介護休暇、④リフレッシュ休暇（3日）

■職員のスキルアップ

OJT等による育成

- ・スキルマップによる自己分析
- ・上司や先輩による実地指導
- ・e-ラーニング

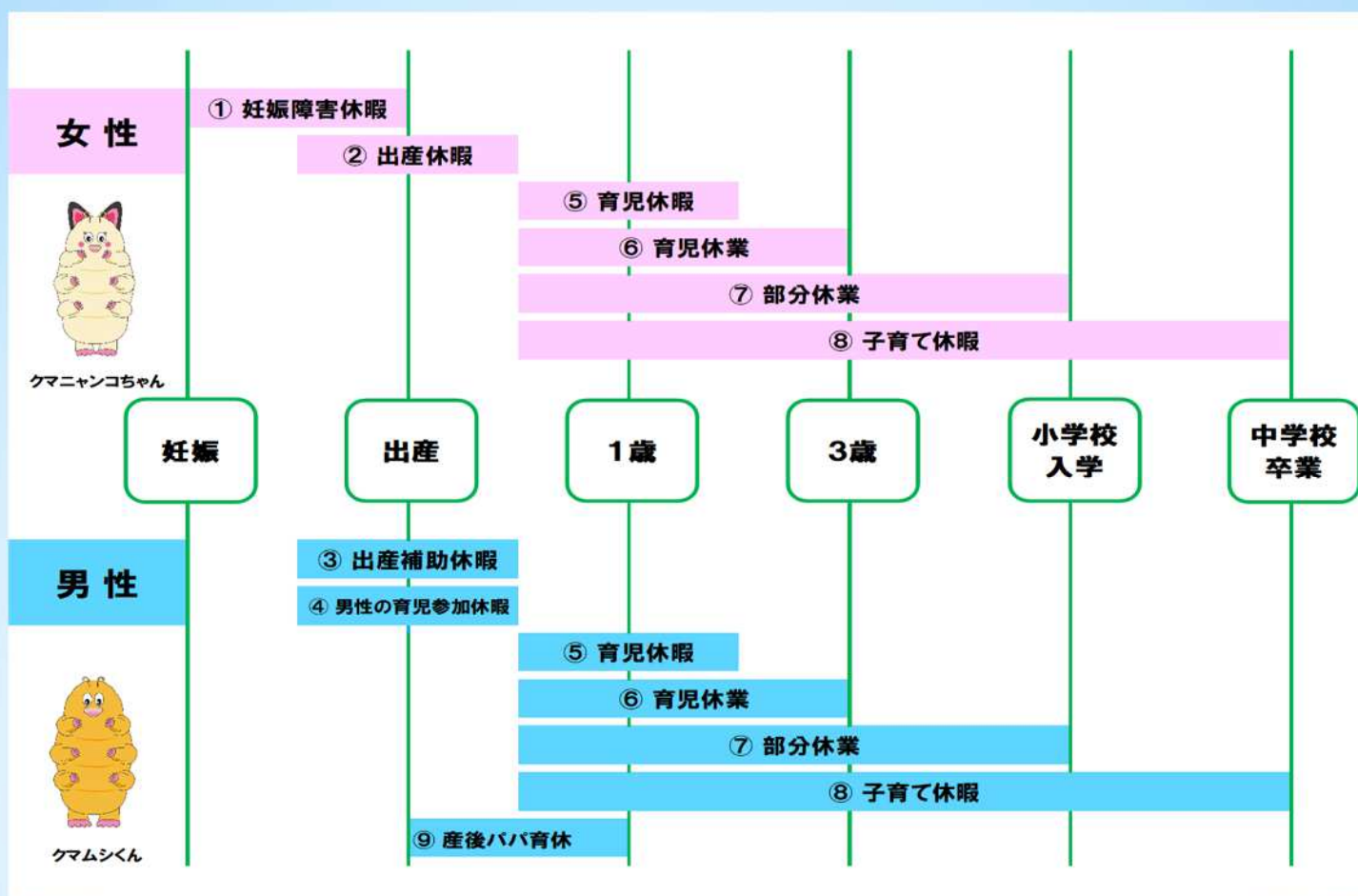
研修による育成 （下水道に関する専門研修） （埼玉県の研修制度を利用）

- ・下水道公社独自の基礎研修や専門研修
- ・埼玉県職員研修（1年目、2年目、中級、主任、昇任時）
- ・埼玉県下水道局研修
- ・下水道関係専門研修

取得を奨励する資格 （取得費用は公社負担）

- 【1～2年目】
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者、小型移動式クレーン運転技能者、
玉掛け技能者 等
- 【3～5年目】
下水道技術検定3種、危険物取扱者（乙種4類）、ボイラー技士（2級） 等

■子育て支援制度



休暇・休業	制度の概要	給与
① 妊娠障害休暇	つわりなどのため、勤務が困難な場合（14日の範囲内）	有給
② 出産休暇	産前6週間、産後8週間	有給
③ 出産補助休暇	妻の出産時に、入院付添いなどの場合（3日の範囲内）	有給
④ 男性の育児参加休暇	妻の産前産後期間に、上の子の養育などの場合（5日の範囲内）	有給
⑤ 育児休暇	子の送迎などの場合（1歳6か月まで。1日に90分の範囲内）	有給
⑥ 育児休業	育児のための休業（3歳未満の子の養育）（※1）	無給（※2）
⑦ 部分休業	育児のため、勤務時間の一部を休業（1日に2時間の範囲内）	減額
⑧ 子育て休暇	子の看護や学校行事参加などの場合（1年に7日の範囲内）	有給
⑨ 産後パパ育休	子の出生後8週間以内に4週間を上限として取得可能	有給

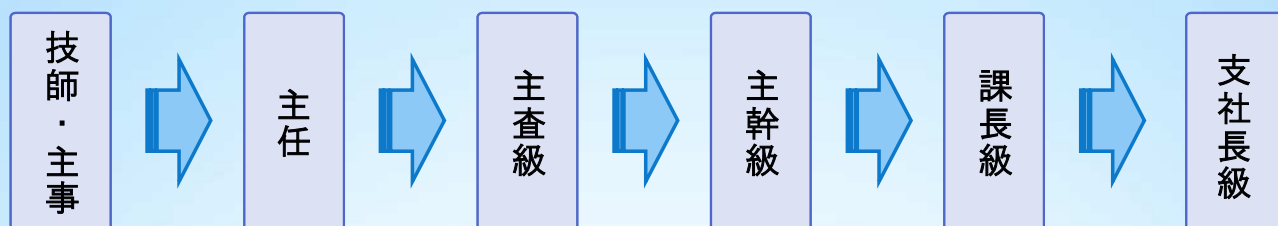
※1：2回に分割して取得が可能です。

※2：育児休業給付金が支給されます（最長2年間）。

◎上記の他、テレワーク、育児短時間勤務、時間外勤務の制限などの制度もあります。

■昇任制度

昇任は、主査級以上は昇任試験を実施し、勤務成績を考慮して決定します。



■人事・サービス管理

人事異動：原則として4月1日です。異動サイクルは、3～5年を目安としています。

人事考課：職務を通じて発揮された意欲や能力、実績を公正かつ客観的に評価し、その結果を昇任や昇給に反映しています。

昇給：昇給は、年1回、4月1日です。昇給額は、人事考課により0から6号給の範囲となっています。（1号給は概ね800円～1,000円）

ワークライフバランス

子育て休暇の取得促進など仕事と家庭の両立に取り組んでおり、埼玉県から「多様な働き方実践企業」の「ゴールド」認定を受けています。

■受験申込から内定まで

<大学等新卒・既卒>

- | | | | | |
|---|---------------|---|--|-------------|
| ① 受験申込
提出書類
○採用試験申込書
○エントリーシート
○受験票
○電気主任技術者免状(電気B) | ② 書類選考 | ③ 一次試験
試験内容
○事務能力基礎試験
○小論文試験
○適性検査 | ④ 二次試験
試験内容
○面接試験(一次・二次)
提出書類
○卒業(見込)証明書
又は卒業証書(写) | ⑤ 内定 |
|---|---------------|---|--|-------------|

<高校新卒>

- | | | |
|---------------------------------------|--|-------------|
| ① 受験申込
提出書類
○履歴書
○調査書 | ② 採用試験
試験内容
○作文試験
○適性検査
○面接試験 | ③ 内定 |
|---------------------------------------|--|-------------|

■受験できない場合

次のいずれかに該当する人は、受験することができません。

- ①禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
- ②日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人
- ③平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている人(心神耗弱を原因とするもの以外)



※具体的な募集内容は、公社WEBの『受験案内』をご覧ください。

公益財団法人 埼玉県下水道公社

問合せ先 公益財団法人 埼玉県下水道公社 (総務課 職員採用担当)
〒338-0837 さいたま市桜区田島7-2-23
TEL048-838-8585 FAX048-838-8589
E-mail:saiyo@saitama-swg.or.jp
<https://www.saitama-swg.or.jp/>